

自分らしさをまとう喜び
 — 普段着は着物です —



着物を着るとき

本誌 本日は「着物を日常着として
 着たい」とおっしゃるお三方にお
 話をうかがいたいと思います。

猪口 着物は普段にしか着ないんで
 すよ。公式の場では洋服の正装、
 スーツで対応します。ジュネーブ
 に軍縮大使として赴任していたと
 きなど、激しい交渉に及ぶ可能性

猪の ぐち
 口邦子 (上智大学教授)

群むれ
 ようこ (エッセイスト)

水みず
 原はら
 紫し
 苑おん (歌人)



(猪口邦子さん)



(水原紫苑さん)



(群 ようこさん)

水のあるときも着ませんでした。
群 私は以前は出掛けるときだけ着物だったんですね。ただ、母親がいつも家の中で着物姿でいるのを「いいなあ」と眺めながら、私も日常生活で着物を着たいとずっと考えていたんです。そこへちょうど文庫の書き下ろし『きもの365日』で毎日着物を着るという企画がありましたので、一年間も着続けられるのか不安に思いなが

ら、念願だった、着物で暮らすということを試してみたいんです。

水原 私が着物に親しむようになったのは、十五年ぐらい前に仕舞と謡のお稽古を始めたことがきっかけでした。四十過ぎたら家で毎日着ようと、実は私も思ってたんです。さすがにそれは無理だったんですが、歌の集まりや、ちよつとした仕事に普段着として着ていくことが多いですね。

猪口 着物は大学の授業やゼミでも着ることがあります。私の大学では鶴見和子先生という立派な社会学者が以前、ずうつと着物でとおしていらした。そういう先輩のおかげで、着物で大学に行っても不思議に思われないんです。きょうのは泥大島にすくい帯ですが、いつもはもつと普通の紬ばかりです。

水原 普段に着る着物は疲れなくていいですね。お能の会とか、自分の発表会の舞台とかで、訪問着もわりと着ますし、それはそれで好きなんですけど、やっぱり疲れます。特別な私を演出してる感じがして緊張するんです。大島紬や結城紬だと、職人さんの手仕事を守ってくれる感じがとてもいい。

猪口 そうやって文化として着物を

体験されているのがすばらしい。私の専門は国際政治なのですが、グローバリゼーションの時代に国際政治の話を着物で論じるというのはいへんいいことですね(笑い)。グローバリゼーションによってどの国も均質化してしまうんですが、「差異がない」ほど退屈な世界はない。着物のような独自の文化には、連綿と受け継がれてきただけに強いものがあるんです。それに着物は身体にもとてもいい。呼吸器など重要な器官のあるところを何重にも保護して、ほかは温度調節がしやすいようにスカスカしている。風土に合わせた民族の知恵が詰まっていますよ。

水原 そうですよ。でも、すごく疲れているときは、どういうわけか着物を着られないんです。

群 あ、着られませんか。疲れてると同じ着物でもものすごく重く感じてダメなんです。

猪口 着物を着たいと思うときは、体調がよいということかしら。着物は体調のよし悪しがわかるバロメーターでもあるわけ(笑い)。着物は帯が便利でね、さまざまなものが入るのでハンドバッグを持つ必要がなくなる(笑い)。

水原 そんなに入りますか？

猪口 ええ。まず名刺でしょう、小銭、櫛や鏡、約束を書いたメモ、扇子の代わりにペンを差しちゃうこともある。帯は袋になってるからものは落ちないし、おかげで忘れものもしないし、いいなあ。

群 お太鼓の部分にもものを入れてる方もいらつしやいますよ、筋書きとか……。

水原 バッグもよく入れますよね。

群 あ、入れます、ちっちゃいポーチみたいなのね。帯はほんとに物入れ。

猪口 だから着物を着てしまうとそれだけで一日大丈夫。着物を着たときのこの自立した感覚がなんともいえずいいんですよ。

「普段着物」のポイント

猪口 家で着物を着ると娘たちが喜びますよね。確かに着物を着ると、怒ることはまずない(笑い)。

普段着ならではの楽しさというのは冒険できちゃうところかしら。訪問着であれこれ工夫するというのは勇気が要りますけれど、普段着だと、冒険しても「それ、おかしいんじゃないの」と言われずに済むんです。ともかくコーディネートが楽しいですよ。帯、帯揚げ、帯締め、半襟と伊達襟まで入

れると、これだけで五、六色のコーディネートネーションになるから相当知的なチャレンジですよ。

群 私も着物を着始めた三十代半ばごろは、コーディネートで三日、四日悩んでました。一色だけでもまったく感じが変わるので決められない。

水原 悩みますよね。

猪口 色彩学の基本を勉強しておくといいですね。すべての色の反対色を記憶しておくとか。そうすると間違わない。

水原 洋服では使えないような思いがけない色合わせができたりもしますよね。

群 外す楽しさみたいなものもありますね。二十代で貯金をはたいて求めた地味めの黄八丈があったんですが、三十代半ばになったらもっと地味になってしまった。小物

の色でカバーすればよかったというところに当時は気が回らなくて、むぎむぎ母に取られたんですけど（笑い）、一年間着つづけてみてやっとそのことに気付きました。

水原 その黄八丈、もうそろそろお似合いになるころですよ。

群 でも母はしっかりと握って離さない。私の手元には黄八丈が入った桐箱だけが残ってます（笑い）。水原 私は、けっこう季節のものが好きなんですよ。見るとすぐフラフラッとしてしまう。

群 私は夏の着物がいちばん好き。軽いし、身体が守られているのをすごく感じるから。縮みだとか、夏のほうが着物をよく着ているかもしれないです。

水原 冷房対策にもいいんですよ。私、夏の上布を自分で洗うのがまた大好き。あれ喜びですよ。

群 気持ちいいですよね。

猪口 うわー、すごい。洗うのが喜びになることはないな(笑い)。ほんとの普段着でウールの着物っていうのも悪くないですよね。

水原 ひとえ仕立てにして六月ごろでもいいですしね。昔はセルって言ってましたよね。

群 ウールはもつと普及してほしいです。昔は洒落たものもあつたんですが、最近は柄を探すのが難しくなつて。浅草のお店で聞いたところでは、ウールはもう仕入れるところが二軒しかなくて、柄が選ばないというんですよ。

猪口 生活文化としての伝統がだんだんなくなっていくのね。でも生活文化の技術が衰えないことが重要なんです。若者の間でアンティーク着物のブームがあるでしょう。アンティークもいいんだけど、それだけだと今を担う着物の制作者たちが報われない。だから古いものを評価するのと、同時代の新しいものときめく気持ちと両方持たないと……。文化って伝承でしか伝わらないものだから、一代抜けたら死に絶えるわけですね。

群 世の中全体がそうなってるのかもしれないけど、着物好きの若い

の文化も希望があるかなと思うんだけれどもね。

普段に着る工夫と知恵

水原 でも着物の着方がなかなかうまくならないんです。ずうっと着てもダメですね。着物の先輩方にいつもヘンだって言われるんですよ。

群 皆さん言いたくなっちゃうのよ、ご親切でね(笑い)。着物好きの方って気持ちが熱いですから、いろんな情報を教えてくれるんです。

猪口 本には残らないけれども伝承される知識のようなものね。

群 そうなんです。しかも、それがすごくおもしろい。ある男の方からお母様の着物の思い出というのをうかがったことがあるんです。夜寝るとき、そのお母様は襦袢と

着物と茶羽織を全部一緒くたに脱いでお布団の上に掛けるんです。で、朝起きるとそれをそのままスポッと一度に着ると。

水原 エーッ、便利ですね。

群 日常着だからいちいち畳んだりしなくて、もうガバッと一緒くた(笑い)。子供のころ、お母様の布団の上に抜け殻のような形でそれが掛かっていた光景をよく覚えてるって言うんです。こういうのがほんとの日常着の記憶……。

猪口 やはり着物というところ、着“というイメージがあるから、そうではない着方もあると知らせることで、もっと多くの人が着物に振り向いてくれるきっかけになるかもしれないですね。

群 そうなんですよ。『きもの365日』を書くためにがんばって家でも着てましたが、雨の日の外出で

も着たりしたんです。そうすると
それまで予想もしなかったような
ことがたくさん起こるわけです。

猪口 雨でも着られるということは
大事ね。天候によって予定を変え
るのはとてもイヤ(笑い)。

群 それをクリアするのがたいへん
でした。そうしたら、ずっとお着
物で暮らしてきた方が教えてくだ
さったんです。昔は腰紐でうーん
と着物を持ち上げて、下は襦袢だ
けになつた上にコートを着て雨の
中を歩いたものだそうで、全然恥
ずかしいことじゃないのよって。

水原 私も下は長襦袢で歩いたって
聞いてます。歌舞伎なんかであり
ますよね。今やるとちよつと驚き
ますけど(笑い)。

猪口 でも、それが普通の生活の知
恵だと。

群 昔の映画でも、姐さん被りのお
母さんが、裾をまくって襦袢だけ
で拭き掃除とかしてますもんね。
恥ずかしいという感覚が今と違っ
てたんでしょうね。

水原 ええ、でもそれってやっぱり
けっこうエロティックだったと思
います(笑い)。

群 雨以外で問題なのは、立居振舞
がなっていないから(笑い)、袖
がじゃまじゃまで……。

水原 引っかかりますよね、ドアの
ノブとか。

群 そうなんですよ。といって、そ
の上に割烹着を着ると、せっかく
着物を着ているのに隠してるみた
いでちょっとつまらないんです。

猪口 私は逆で、家では割烹着を着
ないで着物を着ることはまずない
わね。割烹着はほんとに賢い！

あと江戸時代みたいに黒のビロー
ドとか綾子みたいなものを襟に付
けてしまう。縫い付けないで、折
って付けるだけですけど。

群 挟み込むということですか？

猪口 そう、それで意外と動かない
し、汚れないんです。それを付け
ちゃうと、もうどういう家事にも
対応できると。

群 完璧ですね。

水原 襟の山のところがいちばん汚
れますものね。私にとつての問題

は、襟なんです。襟さえ決まれば
……という感じ。帯も難しいです
けれども、襟の感じでその日の表
情が決まるんですよ。

猪口 今日は縫い付けた襟でまし
たけれども、簡単にジッパリーで付
けるものとか、いろんなものをト
ライしましたよ。

群 どれがいちばんよろしかった？

猪口 結局は手縫いでシャーツと。
ただ、毎回洗う必要もないわけ
です。スーツの上着を神経質にいっ
つも洗うことがないのと同じで。気
にはなるので手入れはしますが、
取り外して洗うのを毎回にしま
ずして済むようになります。

水原 三回はもちますよね。手入れ
はベンジンですか？

猪口 熱いお湯。魔法瓶のお湯をタ
オルに含ませてなんとなく汗を拡
散する、それで相がいいですね。

ベンジンは使わないことにしてる
んですよ。

水原 そういう方法があるんです
ね。襟はちゃんと縫い付けていら
っしゃるんですよ？

群 半襟ですか？ もう付いていれ
ばいいという感じでザクザクとし
か縫いません。糸なんかもあとか
ら抜きやすいように端がピロオン
としたままですし。最初は端にち
やんと玉結びをつくって留めてた
んですよ、だんだん、もういら
ない、こんなもの！と。

猪口 そう、それでいつこうにゆる
まないのでよね。普段着なんだから
難しく考えなくていいんですよ。
縫ってそれで終わり、よ。

水原 そうすると抜いた糸はまた使
えますね（笑い）。

猪口 そのとおり！

初めの一步

猪口 気に入った普段着の着物をま
ず二、三枚持つことですよ。基
本的には数なんか要らない。最初
は外で笑われるんじゃないかと不
安に思うので、とりあえず家の中
で着てみると自信がきます。あ
とは着物好きの友だちを持つこ
と。そうするといろいろ訊けます
から。

水原 私もよく「着物を着てみたい
けれど」と訊かれるんですが、手
ごろなアンティーク屋さんでの購
入をお勧めするんです。奇抜なも
のよりたとえば、泥大島のシンプ
ルなものを。本物は着心地がほん
とにいいですから、それを覚える
とだんだん好きになる。

群 やっぱり最初の一枚は絹か木綿
の天然素材のものを買ってもらい
たいと思いますよね。

猪口 化繊では着物のよさに出合え
ないですよ。素材のよい着物は、
着た感じがとても楽ですから、そ
れを実感すると本当に好きになリ
ます。

水原 なると思いますね。

猪口 それでたとえば帯揚げにロン
グのスカーフを使ってしまおうと
か、洋装のものをちよつと活用す
る。ただ、あんまり大きくは崩さな
い。スタイルというのは、基本が重
要。基本があつて、崩すんですよ。
群 まったくそうだと思いますね。

夏に浴衣が流行りましたが、半幅
帯を前に結んでる人を何人か見た
んです。雑誌でそういうコーデイ
ネットがあつたんですけど、実際
に見るとびっくりします。

水原 歌舞伎の遊女みたいですね。
確かに花魁とか綺麗ですけどね。